

アレルギー疾患 医療従事者等研修会 参加者募集

WEB開催
無料
定員 **300名**

アレルギー疾患医療に携わる医師等に対して、アレルギー疾患に関する専門的な知識及び技能を有する人材の育成を図ることを目的に、標記研修を実施いたします。多くの方の参加をお待ちしています。

会期

講義 オンデマンド配信

令和5年 **1月16日** 月 8:30~ **1月30日** 月 12:00

質疑 Zoomライブ配信

令和5年 **1月29日** 日 14:00~16:00 (予定)

主催

兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院 (研修当番病院：兵庫医科大学病院)

開催形式

完全Web開催 講義：オンデマンド配信／質疑：ライブ配信 (Zoom)
※事前に講義を受講し、質疑にご参加ください。

分科会		質疑 オンデマンド配信	講義 Zoomライブ配信
挨拶	【座長】 兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 臨床教授 松井 聖 先生	2022年1月29日(日) 14:00~14:05	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">配信期間</div> 2022年 1月16日(月) 8:30 ~ 1月30日(月) 12:00
1	【講義】 アナフィラキシーショックとその対応 -2022ガイドラインをふまえて- 【演者】 兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 助教 吉川 卓宏 先生	14:05~14:20	
2	【講義】 みんなで考える喘息治療におけるバイオ製剤の在り方 【演者】 兵庫医科大学病院 呼吸器内科 臨床教授 栗林 康造 先生	14:20~14:40	
3	【講義】 アレルギー性鼻炎 -発症機序と根本治療- 【演者】 兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授 都築 建三 先生	14:40~15:00	
4	【講義】 アレルギーマーチの予防と管理 【演者】 兵庫医科大学病院 小児科 助教 齋藤 碧 先生	15:00~15:20	
5	【講義】 花粉症だけじゃない！知っておきたい目のアレルギーと治療薬 【演者】 兵庫医科大学病院 眼科 講師 細谷 友雅 先生	15:20~15:40	
6	【講義】 成人でみられる食物アレルギーとは ~子供との違いは？~ 【演者】 兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 病院助手 田村 誠朗 先生	15:40~16:00	

申込方法

専用サイト <https://www.■■■■■■>
または右記QRコードよりお申し込みください。



申込期間 令和4年12月12日(月)~令和5年1月10日(火)



分科会講義概要

アナフィラキシーショックとその対応 -2022ガイドラインをふまえて-

1

兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 助教 吉川 卓宏 先生

日常診療の中で、食物アレルギーや薬剤アレルギーにはしばしば遭遇します。そのなかでも、複数臓器にアレルギー症状を呈するアナフィラキシーショックは時に致死的となることがあります。そのため医療従事者としてアナフィラキシーへの対応を熟知しておくことが必要です。本講演では、最新のガイドラインであるアナフィラキシーガイドライン2022を踏まえて、アナフィラキシーについて最新の定義や早期の認識やアドレナリン投与の重要性、対応の流れについて解説します。

みんなで考える喘息治療におけるバイオ製剤の在り方

2

兵庫医科大学病院 呼吸器内科 臨床教授 栗林 康造 先生

喘息の治療は、気道の炎症を抑える吸入ステロイド (ICS) を中心に、気管支拡張薬である長時間作用性 β 2刺激薬 (LABA) や長時間作用性抗コリン薬 (LAMA) などを症状に応じて組み合わせるのが基本です。しかし、それら、複数の薬剤によってもコントロールできない患者も一定数おり、「重症喘息」と呼ばれ、近年、こうした重症喘息患者向けに、治療選択肢として生物学的製剤が相次いで登場しています。しかし、その普及のスピードは鈍いとされ、その理由と対策について、みなさんと一緒に考えたい、と思います。

アレルギー性鼻炎 -発症機序と根本治療-

3

兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授 都築 建三 先生

鼻は気道フィルター第一線として、異物(アレルゲン)をくしゃみで払いのけ、鼻汁で洗い流し、鼻閉で門前払いしています。この生体防御反応が必要以上に起こると、治療が必要です。アレルギー性鼻炎の治療には、薬物(抗ヒスタミン薬・抗ロイコトリエン薬・ステロイド鼻噴霧)と手術が行われますが、いずれも対症療法です。根本治療であるアレルゲン舌下免疫療法を組み合わせるとより効果的です。今回は、アレルギー性鼻炎の概要と舌下免疫療法を紹介します。

アレルギーマーチの予防と管理

4

兵庫医科大学病院 小児科 助教 齋藤 碧 先生

同じ患者さんの中で、年齢とともにアレルギー疾患が次々と標的とする臓器を変えて出現することを、行進曲(マーチ)に例えて「アレルギーマーチ」と言います。典型的な経過としては0-1.5歳頃に「アトピー性皮膚炎、食物アレルギー」1-2歳頃に「気管支喘息」、幼児期~学童期に「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」を発症します。これらの予防・もしくは早期寛解により成人期へ持ち越さないことは非常に大切です。今回はアレルギーマーチの中でも初期に発症するアトピー性皮膚炎と食物アレルギーにおいてどの様なポイントに注視・対処すればいいかわかりやすくお伝えします。

花粉症だけじゃない！知っておきたい目のアレルギーと治療薬

5

兵庫医科大学病院 眼科 講師 細谷 友雅 先生

季節性アレルギー性結膜炎、いわゆる花粉症はアレルギー性結膜疾患の大多数を占めます。しかし、春季カタルやアトピー角結膜炎といった、角膜障害を伴い、視機能にも影響するアレルギー性結膜疾患もあります。これらの疾患では抗アレルギー薬のみでは改善せず、ステロイド薬や免疫抑制薬が必要になる症例が多数存在します。本講演では薬剤使用上の注意点も交えながら、アレルギー性結膜疾患について解説します。

成人でみられる食物アレルギーとは ~子供との違いは?~

6

兵庫医科大学病院 アレルギー・リウマチ内科 病院助手 田村 誠朗 先生

成人の食物アレルギーは子供の食物アレルギーとは様々な点で異なります。一般的に自然に治ることはなく、診断においても、アレルギーの原因食物の特定に悩むこともしばしばあります。今回は、成人にみられる食物アレルギーとして①食物依存性運動誘発アナフィラキシー(食事+運動=アレルギー?)②口腔アレルギー症候群(花粉症と食物との意外な関係について)、③アニサキスアレルギー(魚アレルギーとアニサキスアレルギーの違いについて)について紹介します。